

富士河口湖古の小径

富士北麓の食生活の変遷(下)

(前号(戦後)からつづき)

晩秋になると、冬食べる野菜の確保で忙しくなります。

大根、人参、ジャガイモ、ごぼう等を土にいけたり、鳴沢菜、練馬大根を塩漬けにし漬け物を作ったり、鳴沢菜、大根葉を縄で編み、陰干しで乾燥させたり、鳴沢菜の蕪、大根を洗って薄切りや千切りにし乾燥させたりしました。乾燥させた野菜は保存して、茹でたり、煮付けたりして副食として重宝しました。特に乾燥させた大根葉は茹でてから細かく切り、油いためにし、ご飯にまぶして食べるとおいしく頂けました。これらの作業は全て女性の仕事でした。

さて、最も大切な米の入手ですが、米は統制品のため、戦中戦後はしばらくの間、一般の売買はなく、農家が供出した米を配給所という米屋を通じ人数割りで購入していました。常時売っているわけではなく、何月何日に米が入荷する旨の事前連絡があり、該当日には配給米の通帳と米を入れるための容器を持参し、配給所の前に行列をつくり、やっと手に入れることができました。しかし、この時配給される米の量は一ヶ月分で、白米のご飯にしたら十日分位にしかならないものでした。

そんなわけで、これ以上の米が欲しければ他の方法で入手しなければならず、自ずと闇米が流通するようになりました。家庭内工業でいくつもザルを作製し、それを持って米の産地に向き、物々交換で米を確保しました。しかし、折角手に入れた米も駅周辺で警察の「一斉」一斉捜査)にかかり、没収されてしまうこともしばしばありました。もちろん罪悪感を感じていましたが、それ以上に家族のなを思つと、神経をすり減らしてでも行わなければならぬ大事なことでした。

米は、陸稲も作りましたが、水稲に比べ収穫量が極端に少なく、味も落ちるので、陸稲で作っ

たものはお正月用のもち米しか作付けしませんでした。

物々交換は世間ではある程度公認されていて、大人に混じって平日に学校を休んだ子どもが商いに出かけることもありました。翌日、先生に昨日はザル売りに行つて儲けてきたよ」と報告すると、先生も、それはすごいな、俺の給料より多いな」と、普通の会話として飛び交っていました。学校側も食糧事情が悪かった故、大目に見ていたのではないのでしょうか。

他には、「芋くみ」と称したサツマイモ交換も行っていました。また、この地域にはない塩は交換してもらつた対象になっていました。

この頃の畑作として作っていたものは、主としてトウモロコシ、大豆、大麦、小麦でした。その次に多く作られていたものが、粟、黍、陸稲もち米、ジャガイモ、サツマイモ、大根、鳴沢菜です。一般家庭では、胡瓜、いんげん、人参、ごぼうが作られていました。特に胡瓜、いんげんは夏季限定品でありましたから、季節に係わりなく、種類が豊富で大量に店頭に並んでいる今日では考えられない状況です。

隣、近所のコミュニケーションは、今では想像もつかないかもしれませんが、助け合いの精神で互いに苦境を乗り越えてきたことは言うまでもありません。

例えば、小麦粉を切らしてしまった時、隣の家に借りに行つたり、米や醤油の貸し借りも例外ではなく、日常茶飯事のことでした。経済的に豊かではなく、物品も揃っていませんでしたが、皆の心は今日よりも大らかで、優しくつたように思います。

また一大行事である冠婚葬祭が実施される時は、女性は大忙しでした。親戚中の女性がかかり出され、食事の支度に大わらわで、特にうどん、蕎麦は粉から練り上げ、適当な薄さにのして切る手打ちの作業は重労働でした。こうしてできたうどんには、茹でた菜を加えたり、蕎麦には茹でた千切り大根を混ぜ合わせたりし、豪華に振る

舞い、つけつゆには、人参、油揚げの入った味噌仕立ての汁を作りました。つけつゆは食べているうちに冷めてくるので、暖かいつけつゆを足して頂きました。今でも昔を懐かしんで菜うどんや大根蕎麦を時々作ることがあります。

お正月には餅、小正月には米粉やトウモロコシ粉の繭玉、お饅頭をたくさん作り、節分には大豆を煎って豆まきをし、雛の節句には菱餅を作り、六日菖蒲(この辺りでは六月六日)は柏餅を作りました。青年団の人達は柏餅を持って五合目の小御岳神社へ参拝に行き、庭にある斧を返したり、力自慢をしたりしました。

お盆には各家庭で採れたトウモロコシ、南瓜、夕顔を仏前に供え、故人の供養をしました。そして、秋祭りには赤飯や海苔巻き、いなり寿司を作つたり、天婦羅、きんぴらごぼうを作つたりしました。

十五夜にはお饅頭を作り、縁側にお供えしました。いたずら好きな子どもたちは、このお供えを棒で突付けて遊んでいました。

冠婚葬祭のこんな風習も薄れつつあり、いつしか忘れ去られようとしています。今は懐かしく思い出すだけとなってしまいました。

時代が移り変わり、物流ルートが確保され、様々な食材の品種改良も進み、よりおいしく、より豊富に作られるようになりました。また、これらの食材は旬の季節も忘れるほど一年中店頭並び、いつでも手に入るようになりました。

物々交換に出かけた日々、小さな体で鎌を振るつたこと、手打ちのほうとうを粉まみれで作つたことなど、思い起こせば昨日のことのように鮮明に頭の中に浮かんできますが、もう既に半世紀も前のこととなってしまいました。

あんな時代がなかったのかの如く、時代は猛スピードで流れ、毎日の生活が営まれていきますが、過ぎ去つた日々は決して忘れることができない私の大事な軌跡となっています。《完》

(特別寄稿 ふるさとガイドの会・古文書調査会 小林那津子)

新しくなった震度と揺れの状況]

地震による震度は、かつて体感や周囲の状況で推定していましたが、平成8年以降は全国各地のさまざまな箇所に設置してある計測震度計により自動的に観測をしています。

本年3月31日から気象庁震度階級関連解説表が新しくなりました。

地震が起きたら頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難しましょう。また、家屋の耐震化や家具の固定など、日頃から地震に備えましょう。

【新】気象庁震度階級関連解説表

震 度	揺 れ の 状 況
震度 0	人は揺れを感じない。
震度 1	屋内で静かにしている人の中には揺れをわずかに感じる人がいる。
震度 2	屋内で静かにしている人の大半が揺れを感じる。
震度 3	屋内にいる人のほとんどが揺れを感じる。
震度 4	ほとんどの人が驚く。電灯などの吊り下げ物は大きく揺れる。座りの悪い置物が倒れることがある。
震度5 弱	大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。棚にある食器類や本が落ちることがある。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。
震度5 強	物につかまらなると歩くことが難しい。棚にある食器類や本が多く落ちる。補強していないブロック塀が崩れることがある。固定していない家具が倒れることがある。
震度6 弱	立っていることが困難になる。固定していない家具の大半が移動し倒れたり、ドアが開かなくなることがある。壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたり倒れたりすることがある。
震度6 強	はわないと動くことができず飛ばされることもある。固定していない家具のほとんどが移動し倒れるものが多くなる。耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものが多くなる。大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生したりすることがある。
震度 7	耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものがさらに多くなる。耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことが多くなる。耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多くなる。

管理課 防災係 72-6013

夏の交通事故防止県民運動

[平成21年7月21日(火)~8月20日(木)]

夏休みと夏の行楽シーズンが重なるこの時期は、たくさんの観光客が訪れることから交通量が増大し、交通事故の多発が心配されます。

本年は二輪車の関係する重大事故が多発しています。スピードの出し過ぎや左側追い越しなど危険な運転はやめましょう。

一人ひとりが交通ルールと交通マナーを守り、交通事故をなくしましょう。

～シートベルト着用率が大変低い状況です～

役場前道路で行なったシートベルト着用率調査結果と県平均は次のとおりです。富士河口湖町は県内において大変低い着用率となりました。

車に乗ったら後部座席を含む全ての座席でシートベルトとチャイルドシートを着用しましょう。

[6月30日実施]

	富士河口湖町	県平均	順位
運転席	87.7%	95.6%	27位/28市町村中
助手席	82.1%	90.6%	24位/28市町村中

管理課 防災係 72-6013



募集

富士ビジターセンター

【剣丸尾講座 森を歩いて、

富士山の不思議を発見！】

富士ビジターセンターでは富士山の自然をより身近に感じていただけるミニエコツアーをシリーズで開催いたします。テーマは「剣丸尾溶岩流」。

剣丸尾溶岩流の上にある当センターの自然観察園の散策をとおして、富士山の成り立ちやその自然の美しさを学んでいただきます。

日時 8月16日(日)午後1時30分～3時30分
定員 10名

参加費 無料

講師 外川英樹(町在住 自然写真家)

場所 山梨県立富士ビジターセンター隣接「自然観察園」

申込方法及び問合せ先

富士ビジターセンターに電話にてお申し込みください。電話番号72・0259 山下

また、8月10日(日)まで展覧会を開催しています【富士山五合目周辺の植物分布と遷移】

富士吉田共同高等職業訓練校

「塗装教室」 屋根や壁の上手な塗装を学ぶ

日時 9月6日～10月4日までの4日間

午前9時～午後5時

定員 10名

受講料 15000円

締切 8月31日(金)

持ち物 作業着、軍手、筆記用具、お弁当

問合せ先 富士吉田職業訓練協会

22 52214

県立都留高等技術専門学校

〔在職者訓練〕

「接遇・対応のための英会話」

日程 10月中旬から6日間 午後6～9時
受講料 2100円

「パワーポイント(プレゼンテーション)講座」

日程 10月中旬から6日間 午後6～9時
受講料 2100円

いずれの申込みも、規定の用紙に記入し、申し込んで下さい。定員になり次第キャンセル待ち。

〔訓練生募集〕

「機械科」 普通旋盤製図、溶接技能等

「服飾科」 服飾デザイン、縫製技能等

訓練期間 10月から3月

授業料 無料

対象者 公共職業安定所の求職申込者

詳しいことは、県立都留高等技術専門学校へ問い合わせして下さい。

0554 43 8911

FAX 0554 43 8912

かわアコサークルメンバー募集

リズムテコンドーを通して、トラブルや危険から身を守る方法を楽しみ習得します。

開催日 8月28日、9月11日、25日(金曜日)

対象 年少から小学生(親子歓迎)

時間 午後6時～7時30分

参加費 1人500円、親子1000円

問合せ先 小槇一江 72 2231

080 3080 8288

県立産業技術短期大学校〔在職者訓練〕

8月の在職者訓練のおしらせ

「労働安全マネジメントシステム導入コース」

9月9日～計6日間、午後1時30分～4時30分
受講料 2100円

「アクセス基礎・応用コース」

9月24日～計12日間、午後6時～9時
受講料 4200円

「3次元CADによる機械設計の基礎」

9月29日～30日、午前9時～午後4時
受講料 3200円

問合せ先 県立産業技術短期大学校

0553 32 5202

建退共制度をご存知ですか？

建退共制度は、中小企業退職金共済法に基づき建設現場労働者の福祉の増進と建設業を営む中小企業の振興を目的として設立された退職金制度です。この制度は、事業主の方々が、労働者の働いた日数に応じて掛金となる共済証紙を共済手帳に貼り、その労働者が建設業界で働くことをやめたときに建退共から退職金を支払うという、いわば業界全体での退職金制度です。

加入できる事業主 建設業を営む方

対象となる労働者 建設業の現場で働く人

掛金 月額310円

国の制度なので安全、確実、手続きが簡単

経営事項審査で加点評価の対象となります

掛金の一部を国が助成します

掛金が全額非課税になる税法上の優遇

事業主が変わっても企業間を通算して計算されます



問合せ先 勤労者退職金共済機構山梨支部
055 235 4421

富士吉田市立病院BLS・AED講習会

心肺停止に対する初期対応とAEDの使用方法を正しく理解し、基本的な心肺蘇生法を習得するものです。新たな基準にも対応し、最終的に富士五湖消防本部が認定する、普通救急救命講習修了証を交付します。

日時 9月12日(土)午前9時～12時
11月14日(土)午前9時～12時

会場 富士吉田市立病院2階 講堂

対象者 一般の方、AED設置施設の方、医療従事者の方

受講料 無料 定員 24名

講師 富士吉田市立病院救急医療担当医師

及び有資格(ACLS)看護師 救急救命士

申込先 富士吉田市立病院医事課 渡辺

22,4111 内線2101

富士箱根伊豆交流圏(S・K・Y・広域圏)ロゴマーク募集

富士山を中心とした富士箱根伊豆地域では3県内の38市町村で、「富士箱根伊豆交流圏市町村ネットワーク会議」を設立し、活気あふれる圏域づくりを目指して、県境を越えた交流を進めています。今年10周年を迎えるにあたり、連携活動のシンボルとするためのロゴマークを募集します。選ばれたロゴマークは、パンフレットやポスターに使用し、幅広く活用していきます。

内容 「S」「K」「Y」の文字が入っており、富士箱根伊豆地域をイメージできるもの、色彩は自由モノクロ印刷でも使用できるもの(自作の未発表作品)

応募期限 9月10日(木)

応募方法 専用応募用紙1枚につき1作品と必要事項を記入し、小田原市企画部

企画政策課へ郵送または指定のメールアドレスに送信

賞金・記念品 最優秀賞 1点 賞金10万円と名産品詰め合わせ

優秀賞 3点

詳細については、富士箱根伊豆交流圏のHPをご覧ください。(専用応募用紙のダウンロード可) <http://www.3pref-sky.com/index.html>

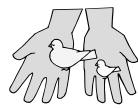
S・K・Y・広域圏とは

静岡県(S)、神奈川県(K)、山梨県(Y)の頭文字を取り、日本を代表する観光圏域である富士箱根伊豆域のことを、S・K・Y(スカイ)広域圏と呼んでいます。

問合せ先 企画課企画調整係 72,1129

東井義雄賞「いのちのこぼ」募集事業

兵庫東豊岡市では同市出身の教育者東井義雄さんを顕彰するため、皆さんに生きる勇気と希望を与えたことばを募集します。



テーマ 「いのち」に目覚めさせられたあの一言
規格 60字以内のことばと、そのときの状況を400字以内で記述

応募資格 どなたでも(一人何点でも応募可)
応募期限 10月1日(木)
表 彰 東井義雄賞(5編)賞金と記念品
秀作(10編)、特別賞(10編)、佳作(75編)

申込・問合せ先 郵便88-0393 兵庫東豊岡市但東町出合150 教育委員会但東分室内
「東井義雄いのちのこぼ」募集係

0796 21,9036
FAX 0796 54,1025

子育て支援講座「森で遊ぼう」

今回は水あそび「バンビーノの森」の友達と一緒に遊びましょう。

日時 8月20日(木)

午前9時30分～11時30分

場所 FUJICの家の家バンビーノの森入口

集合

対象 2～3才の子どもとその保護者

問合せ FUJICの家の家バンビーノの森

富士河口湖町大石29541

090 1505 5681 堀内

電話の問合せは午後3時以降にお願いします

メール info@arbifujii.jp

2009 Mt.FUJIECOサイクリング

自然環境と人に優しい自転車を活用し、日本の象徴であり、世界文化遺産の登録を目指す富士山麓約120kmを1周する壮大なスケールのイベントを開催します。

日程 9月12日(土)～13日(日)

場所 山中湖交流プラザきらら

参加料

富士山1周サイクリング

一般 6500円～10000円

高校生以下 3000円～5000円

ファミリーサイクリング 2000円～3000円

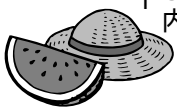
必ず事前申込が必要です。

問合せ先

2009 Mt.FUJIECOサイクリング実行委員会

港区芝大門2-11-10 (株)RSJ内

03 6459 0011





夏休み子どもクラフト体験教室

郡内地域産業振興センターでは、地域産品の展示・販売のほか、「ものづくり」をテーマとした企画展や体験教室を行います。

日時 8月16日までの土曜日、日曜日

午前10時～午後4時

場所 郡内地域産業振興センター

富士吉田市上吉田2277-3

参加料 300円～1000円

内容 手織り、陶芸、しぼり染め、切り絵、木工、藍染め、布はり絵、ミサンガ、ビーズ細工教室

ズ竹細工教室

問合せ先 郡内地域産業振興センター

24 4406

再チャレンジサポートプログラムのご案内

(財)21世紀職業財団では、キャリアシートを使い、あなたの職業、身に付けてきた事をどのように再就職に活かせるのか、コンサルタントの視点でアドバイスを致します。この機会に面談を受けて見ませんか？

日時 毎月火曜・水曜日

午前9時30分～午後3時30分

費用 無料 予約 電話予約が必要

申込・問合せ先 (財)21世紀職業財団山梨事務所

甲府市丸の内2-30-2

再就職担当員 西田 0552365271

関東電気保安協会からの知らせ

『電気安全出前講習会のご案内』

(財)関東電気保安協会では、公益法人として地域や職場の皆様のお伺いし、電気を安全に効率よくお使い頂くための出前講習会を開催しています。是非ご利用ください。

実施内容

ビデオ等による説明

「電気安全な使い方」「家庭などでの省エネルギー」「地震などの災害に備えて」等

実験・実演

「暖気の使いすぎやショート」の実験

「リニアモーター」の原理を知る実演等

費用 無料 時間 1～2時間程度

人数 5名以上

実施日時 日曜、祭日を除く10時～5時

問合せ先 関東電気保安協会山梨事業本部

広報担当 武田

0552283200



グラスアート体験講座

ぴゅあ富士では、空きビンやグラスに絵を描くアート体験講座を企画しました。是非ご参加下さい。

日時 8月22日(土)午後1時30分

場所 ぴゅあ富士 都留市中央393

男女共同参画推進センター

参加料 250円 定員 25名

対象 どなたでも(託児あり要予約)

持ち物 コップ、空き瓶などガラス製のもの

問合せ先 ぴゅあ富士 0554451666

大石紬伝統工芸館からのお知らせ

風鈴金魚を作りませんか？



風が吹くとくるくる回る

涼しげな輪飾りを作しましょう！

実施日 8月8日(土)又は9日(日)

(1日で仕上ります。都合の良い日を予約して下さい。)

時間 午前10時～午後3時

(昼食をご用意下さい。)

料金 1500円

申込問合せ 大石紬伝統工芸館

767901

あなたのよきパートナー 青色申告会

記帳指導・納税申告など

お手伝いしております。

左記へご相談下さい

社団法人大月青色申告会河口湖地域支部

0555732221

夏の思い出作りをお手伝いします!

西湖いやしの里根場では「ふるさとの四季」をテーマにした年中行事を行っています。

営業時間を延長します!! ~夕涼みにお越し下さい! ~

期間:8/15(土)、22(土) 午後時まで

飲食店については午後7時30分オーダーストップ、午後閉店

夏の夜長、いやしの里で夕涼みませんか?

上記2日間は午後4時より「駐車料・入場料を無料」とさせていただきます。

茅葺の建物を照らすライトアップも行います。昼間とは違う時間の流れや里の様子をお楽しみ下さい。



伝統工芸スズ竹ザル作りの実演

期間:9月までの土・日・月曜日 午前10時~午後4時

会場:養蚕資料館 囲炉裏端



富士山二合目に自生するスズ竹を使った竹ザルづくりは、江戸時代から伝わる伝統工芸。伝統工芸士小佐野さんを中心に、ザル学校のメンバーが技を披露します。

*いろりでは火をおこしています。

「田舎あーと」ススキ細工体験

期間:8/9・16・30 午前10時~午後4時

会場:養蚕資料館 囲炉裏端



ススキの葉で作るパツは、実に素朴な「田舎あーと」です。ぜひ作り方を覚えて下さい!!
体験料金500円(完成品付き)

そば打ち体験

手打ちそば 久保田 根場 にこんあん 而今庵

毎週木曜日実施 ¥2,000

受付午後2時迄



所要時間約1時間。5人分出来ます。

出来上がったそばは試食でも持ち帰りでも可。

いやしの里クイズラリー

期間:7月18日(土)~8月31日(月)

*いやしの里の各棟に用意されたクイズを楽しみながらいやしの里内を巡るクイズラリー!!

*全問正解の方の中から抽選で景品が当たります。

*小学生以下のお子様には参加賞をその場でプレゼントします!!

夏休み工作教室 期間:~8月31日(月)

店舗名等	内容	料金	写真
陶芸と香の館	「オリジナルにおい袋を作ろう!」 特別体験教室希望者にそれぞれお好きなかおりを1さじサービスします。この他通常の¥1,000コースもあります。	¥500 ¥800	 工の館
紙の館	「いろいろな紙を作って加工してみよう!」 ごぼうも人參も紙の原料になります。 所要時間約2時間 要予約	¥1,000	 つるしびなの館
土の館	「親しい友人に風鈴の便りをおくりませんか?」 素焼きの風鈴にアクリル絵の具で色付けをします。 8月21日まで	町民特別 価格 ¥1,000	 大石紬と布の館(金魚)
大石紬と布の館	大石地区で7月7日収穫された新繭で繭の色を活かした “白い金魚”を作りましょう。 所要時間約30分	¥1,000	
つるしびなの館	針を使わずに布小物を作ってみましょう! 小さなお子さんも楽しめます。 金魚¥500・どんぐり¥300・丸飾り¥300・どんぐり(手縫い)¥500	¥300 ~ ¥500	

工芸館特別企画展 藍展 ~米山のぶ子~

期間:7月24日(金)~8月30日(日) 午前0時~午後5時

工芸館では、山梨県在住の芸術家の個展を開催しています。今回は「藍染」展。ご主人の米山久志さんと二人展で何度か展示をしていただいておりますが、今回は奥様米山のぶ子さんの個展です。

天然藍・絞り染めの世界を楽しんで下さい。



詳細お問合せ先 西湖いやしの里根場総合案内所

TEL:0555-20-4677 URL <http://www.fujisan.ne.jp/iyashi/>

富士河口湖町「町うた」 「木の花の開く頃に」完成。

～富士河口湖町を愛するみんなの想いが
「町うた」になりました～

「町うた」が、みなさまのご協力により、7月20日に発売となりました。

全国より公募した歌詞は、160名、18編が集まりました。この中から、「八巻玲子」さんの「木の花の開く頃に」が選定委員会により選ばれ、イルカさんのお力添えをいただき、曲が作られました。レコーディングには、「ふじ山麓児童合唱団」も参加するなど、地域一丸となって出来上がった作品です。

7月18日には完成記念式典も開催されました。

なお、初版は数量限定の販売となりますので、お早めにお買い求め下さい。



作詞:八巻玲子・イルカ
作曲:イルカ
定価:1,200(税込み)



2000年秋にふるさとで唄えろ歌が7人1組の想いで
「町うた」が完成しました。
2000年秋にふるさとで唄えろ歌が7人1組の想いで
「町うた」が完成しました。
2000年秋にふるさとで唄えろ歌が7人1組の想いで
「町うた」が完成しました。



お問い合わせ先

町役場企画課 72-6023

詳しくは、下記Pをご覧ください。

<http://machiuta.net/>

国民年金・社会保険相談所 問合せ 山梨社会保険事務局大月事務所 0554223811	場 日 9月8日(火) 所 午前9時30分から午後4時 河口湖商工会	人のうごき 7月1日現在の人口・世帯 人口 25,915人 (+6) 男 12,751人 (+8) 女 13,164人 (-2) 世帯 9,034世帯 (+10)	白須 大石 外川 天野 外川 前田 渡邊 智六 祐治 昇 裕一 俊明 大輔 剛 剛 剛 剛 剛	おしあわせに(結婚) 渡邊 高子 71歳 渡邊 茂夫 本栖 渡邊 ミサエ 83歳 渡邊 幸男 西湖南 渡邊 美智江 83歳 渡邊 裕子 西湖南 渡邊 すま子 80歳 加藤 和幸 勝山 小林 ツマ子 90歳 小林 輝重 大石 宮下 愛子 79歳 宮下 昭平 大石 北村 隆子 52歳 北村 衛 河口 田村 百恵 82歳 田村 弘人 小立 渡邊 よね子 95歳 渡邊 稔 小立 坂本 利光 84歳 坂本 照彦 小立 渡邊 隼三 78歳 渡邊 秀人 小立 石井 美代子 80歳 石井 政廣 船津 外川 まさ子 64歳 外川 三浦 船津 三浦 みつ子 90歳
	Happy Wedding			

選挙管理委員会からのお知らせ

富士河口湖町議会議員 一般選挙

投票日

10月4日(日)

富士河口湖町選挙管理委員会では、十月十五日に任期満了を迎える富士河口湖町議会議員一般選挙を次のとおり実施します。

告示日 9月29日(火)

投票(票)日 10月4日(日)

投票時間 午前7時～午後8時

開票時間 午後9時～

《期日前投票》

期間 9月30日～10月3日まで

時間 午前8時30分～午後8時

場所 富士河口湖町役場

立候補予定者説明会を開催します

富士河口湖町選挙管理委員会では、富士河口湖町議会議員一般選挙の立候補予定者説明会を次のとおり開催します。

日時 9月19日(土)

午後1時30分～

場所 富士河口湖町役場

コンベンションホール

問い合わせ 富士河口湖町選挙

管理委員会 () 72 11112

内線 211

富士河口湖町次世代育成支援行動計画策定委員募集

町では、平成17年度から「富士河口湖町次世代育成支援行動計画」に基づき、だれもが安心して子どもを生み育て、笑顔であふれる町づくりを目指して、さまざまな取り組みを推進してきました。この計画(前期計画)が平成21年度をもって終了するため、今までの取り組みを踏まえて、平成22年度から5か年の後期計画を策定します。

策定にあたっては、策定委員会を設置し、多くのかたの意見を反映させたいと考えています。この委員会に参画していただけるかたを次のとおり募集します。

対象者 平成21年7月1日現在、満20歳以上で、富士河口湖町にお住まいの子育てに関心のある方で、年3回程度開催する会議(平日日中)に出席できる方

募集人員 2名程度

任期 平成21年9月から平成22年3月

応募方法 住所・氏名・性別・年齢・電話番号・職業および「応募の動機および子育てに関する意見」を400字程度(A4、様式自由)を、持参、郵送または電子メール(fukushi@town.fujikawaguchiko.lg.jp)で福祉推進課児童福祉係へ。

申込期限 8月21日(金)

問合せ先 福祉推進課 児童福祉係 TEL 72-6028



宝くじ助成金で太鼓・法被を購入

平成21年度におきまして、林区の芸能発表大会の活動が認められ、(財)自治総合センターから宝くじ助成金をいただき、太鼓と法被を購入しました。

今回の宝くじの助成金(コミュニケーション助成事業)は、住民が自主的に行うコミュニケーション活動の促進を図り、地域の連帯感に基づき自治意識を盛り上げることを目的としています。

林区では、区民の交流を図るため村芝居の復活をと、平成16年から芸能発表大会を開催しています。

今年も、9月13日に妙法寺境内の廻り舞台において、購入しました太鼓を活用し、子ども囃子や歌舞伎の浜松屋源治店等を発表し、また、林区内を法被をまとった子どもたちが山車を引き回まわします。ぜひご覧下さい。

